

「 夜間診療後翌日手術参加リスクの組織的管理 —独自開発低コストデジタルツールによる 2 層介入の効果— 」

1. 研究の対象

2025 年 4 月 1 日～2026 年 8 月 31 日の期間中に、当院外科において夜間（22 時～翌 5 時）の院内診療を受けた患者さん、またはその翌日の執刀・第一助手を担当する手術を受けられた患者さん

2. 研究の背景・目的・方法・期間

【背景】外科医は夜間帯の院内診療後も、翌日に執刀医・第一助手として手術へ参加せざるを得ない状況がありますが、その実態は数値化されていませんでした。

【目的】夜間診療後翌日手術参加リスクの実態を明らかにし、独自開発のデジタルツールによる組織的管理（オンコール調整・電子媒体通知）の有用性を評価します。

【方法】既存の診療録・手術記録・勤怠記録・当直表・オンコール記録を照合して調査します。患者さんへの新たな検査や負担はありません。

【期間】倫理委員会承認後～2028 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録（夜間診療の記録）、手術記録・手術一覧（術者・第一助手・術式・時間）、当直表・オンコール担当表、勤怠記録・時間外労働申請記録、オンコール変更履歴

4. 個人情報の取扱いについて

患者さんの氏名および ID を削除し、代わりに新しい符号・番号を付けて仮名化処理を行い、個人を特定できないようにします。抽出データは外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかる PC 上に保管し、研究責任者の責任の下で厳重に管理します。情報は学会発表・公表後 10 年間保存し、適切に廃棄します。

5. 本研究に用いた情報の二次利用、外部への試料・情報の提供について

本研究で得られた情報は、今回の研究目的以外に使用しません。また、収集した情報を外部へ提供することはありません。

6. 研究成果の公表について

本研究の結果は学会発表、学術雑誌などで公表します。研究結果および報告内容に関しては仮名化し、個人情報が特定できないよう配慮します。

7. 研究組織

研究責任者：近江八幡市立総合医療センター 外科 部長 長田寛之

研究担当者：近江八幡市立総合医療センター 外科 森下紗衣・藤本はるか・小城正大・竹本健一・門谷弥生・内藤慶・中野且敬

8. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧できます。

また、本研究対象に該当する方で、本研究へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくないなど）は、その求めに応じて対象者の情報の利用を停止します。停止を求められる場合には、2027 年 1 月 31 日までに下記連絡先へお申し出ください。了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター 外科 部長 長田寛之

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地 TEL 0748-33-3151（平日 8:30～17:15）